

防災だより



福井県立福井南特別支援学校
福井市南居町82 (0776) 36-7631

第 10 号
平成29年7月20日

今回は、第9号でお伝えしたとおり、「子どもたちが学校にいるときに災害が起きたら・・・」の取り組みについて紹介します。

○災害時の引き渡し訓練を実施しました。～小中学部～

6/3(土)体育大会後に、小中学部対象の引き渡し訓練を行いました。保護者の方には緊急メールを送信し、「何時ごろ」「誰が」「どんな交通手段で」「どこに帰宅するか」を回答する経験をしていただきました。(今年は、高等部の保護者の方にもメールでの回答の体験をしてもらいました。)

事後の保護者アンケートでは、「実際の災害ではもっとパニックになるかもしれないので、訓練は大切だと思いました。」「今回2回目なのでスムーズに引き渡しことができました。毎年こうした訓練を実施していただけると良いと思いました。」などの御意見をいただきました。



<小学部受付の様子>

★スムーズに進みました!



★中学部の生徒も静かに待てました!

○火災想定避難訓練を実施しました。

火災を知らせるベルが鳴り、火元の高学年に近い生徒たちはただちにグラウンドに避難しました。火元から遠い学級では、放送を聞いて的確な避難経路を選び、みんな一緒に逃げました。

本部では通報訓練、火元では消火訓練、また、緊急車両誘導班も出て、校長の指示の元、校門から防火水槽、火元までの経路に立ってみました。

毎年児童生徒も教員も入れ替わるので、やはり訓練を重ねることがとても大事だと感じました。



<児童生徒は落ち着いてグラウンドに避難>



<火元に向かって消火>



<煙を吸わないように>



<本部は消防車の誘導を指示>



防災の取組

防災研修：消火器はどこに？

学校で火が出たときに、我々教員は消火器を持っていち早く現場に駆けつけなくてはなりません。それには、しっかり消火器の場所を知っておく必要があります。そこで、全職員で消火器の場所をチェックしました。実際に校内をめぐってみて、今まであまり意識していなかったことを再認識しました。その他、消火器の使い方クイズなどにも取り組み、防災意識を高めました。



災害時のライフラインを守る

震度5程度の地震や土砂災害が発生した場合、水道、ガス、暖房用の燃料など、学校のライフラインの確認・復旧が必要になってきます。そこで、すぐに学校に集まることが可能な教員で参集班を設けています。5月25日には、いざというときに備え、参集班と運営委員で、ライフラインの確認をしました。



大事なパイプがたくさん走っているボイラー室にて



<6/25（日）に福井市総合防災訓練がありました！>

福井市の各地区で、6/25（日）に防災訓練がありました。福井市にお住まいの皆様は参加されたことと思います。

まず、朝の8時にサイレンが鳴り、前号でお伝えした「指定緊急避難所（公園など）」に自治会単位で集まりました。「指定避難所（小中学校など）」に個々で行くと、安否確認の把握が遅くなるので、一旦緊急避難所に集まり、自治会単位で点呼を取った後、避難所に行くことになっているそうです。

私が参加した自治会では、点呼を取った後、非常食の炊き出し体験がありました。各自治会で様々な取り組みがされていたのではないのでしょうか・・・

以前の災害では、訓練に熱心に取り組んでいた自治会は、迅速に避難できたとの報告もあります。

鯖江市もこのような防災訓練があります。前もお伝えしたように、地域とのつながりは、災害時に大きな役割を果たすことになると思うので、お知らせがあったらぜひ参加してみてください。



まずは、緊急避難所で点呼



パン、カレー、牛丼など種類豊富な非常食

学校ホームページURLはこちら

http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/

学校HPの「危機管理」の中に「安心・安全な学校作り」のページがあります。この「防災だより」とともにぜひ御覧ください。